

## 3分の1は「やめられない本人」からの電話

### パチンコ依存問題相談機関が活動報告

以前も記事にした、全国のホール業者で組織する全日遊連(山田茂則理事長)の経済的支援で設立された「パチンコ依存問題相談機関リカバリーサポート・ネットワーク」。この機関が8月25日、専用電話開設の4月19日から7月末まで約100日間の活動を報告書にまとめ発行しました。

相談件数は380件で、1ヶ月平均約90件。そのうち女性は64%と、男性の33%に比べ約2倍。また電話をかけてきた人は、意外にも、パチンコをやめたくてもやめられないという本人が32%で第1位。次いで母親、配偶者の妻、兄妹の順になっていました。

相談担当者の安高さんは、「電話をしてこられる方のほとんどが「こんな問題を抱えているのは自分だけ」と、一人で悩んでおられる方が多いようでした」「ご家族や周りの方が巻き込まれて、大変な思いをしていることが印象的でした。ご家族に疲れがたまっているのが伝わってきます」などとコメントしていました。

相談専用回線

050・3541・6420